

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		弘中 和憲	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部4年生2人, 大学院1年生1人, 大学院2年生2人, 合計5名の指導する。</li> <li>・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」)を行う。</li> </ul>			0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部4年生2人, 大学院1年生1人, 大学院2年生2人, 合計5名の指導し, 院生2名については, 農業食料工学会九州支部70回大会にて, 口頭発表させた。・学部授業(「生物生産システム設計学」, 「卒業論文Ⅰ」, 「ポストハーベストテクノロジー」, 「バイオシステム工学実験Ⅱ」, 「卒業論文Ⅱ」, 大学院授業(「農産施設工学特論」)を行った。</li> </ul>		
研究	0.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行する。</li> <li>・農業施設学会理事として, 任務を遂行する。</li> <li>・南方資源利用技術研究会理事として, 任務を遂行する。</li> <li>・国内学会1件の口頭発表を行う。</li> </ul>			0.70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本食品保蔵学会の評議員として, 任務を遂行した。・農業施設学会理事として, 任務を遂行した。・南方資源利用技術研究会理事として, 任務を遂行した。・農業食料工学会九州支部で1件の口頭発表を行った。・農業食料工学会評議員に選出された。</li> </ul>		
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスで公開実験を行い, 高校生に科学の面白さを伝える。</li> </ul>			0.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパスで公開実験を行い, 高校生に科学の面白さを伝えた。</li> </ul>		
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術編集委員を務める。</li> <li>・1年生指導委員を務める。</li> <li>・地域農業工学科学科長の任務を遂行する。</li> </ul>			0.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術編集委員を務めた。・1年生指導委員を務めた。・地域農業工学科学科長の任務を遂行した。</li> </ul>		
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行う。</li> </ul>			0.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年次学生の就職支援(企業紹介)を行った。</li> </ul>		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。</li> <li>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		鹿内 健志	所 属	農学部 地域農業工学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.40	学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論, 農業生産システム論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当し, ICTを活用し, 予習・復習を効果的に進める授業やアクティブラーニングを実施する。2年次指導教員として修学指導・相談を行う。		0.40	Learning Management System (Webclass)を効果的に活用し, 学部担当科目(農業情報工学, 農業電気電子工学概論等), 大学院講義(農学研究の方法)を担当した。教職科目(「農業科教育法Ⅰ」, 「教職実践演習」)については県内高等学校と協力し, 効果的に実施することができた。2年次指導教員としてコース配属等に際し相談に対応した。	
研究	0.25	科学研究費による学外研究者との共同研究を進め, その研究成果を学会・論文等で発表する。		0.25	科学研究費の研究成果を「Analysis of Working Performance of Small and Medium Size Sugarcane Harvesters by Using GPS」のタイトルで国際学会で研究報告を行った。	
社会貢献	0.15	公開講座を実施する。沖縄で開催される日本オペレーションズ学会の60周年記念大会の運営を行う。		0.15	2016年8月20日に「初めてのExcelのVBAプログラミング」の公開講座を実施し, 20名の申し込みがあった。2017年3月15-17日に日本オペレーションズ学会の60周年記念大会を実施予定。	
管理運営	0.20	グローバル教育支援機構アドミッション部門 企画・開発セクション長として, 大学のアドミッションポリシーの見直し等を進める。農学部の委員会活動等に積極的に参加する。		0.20	グローバル教育支援機構アドミッション部門 企画・開発セクション長として, 琉球大学の3つポリシーの見直し等を行った。また, 高大接続システム改革にむけて, 米国の大学の視察を行い, 報告をとりまとめる予定。農学部の安全衛生委員, 教育委員, 学士教育プログラム委員等として委員会活動を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平良 英三	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	農業環境計測工学等の専門科目の講義を行うとともに、関連する実験や演習を担当する。学生の理解度に合わせた解説を行い、基礎知識・技術の習得ができるように努める。学部学生、修士学生が卒業研究に必要な実験や学習を指導する。県内企業との交流を図り、学生の意欲向上に努める。また、3,4年次には求人情報を提供するなど就職活動の支援を行う。			0.30	共通科目「情報科学演習」、学部専門科目「農業環境計測工学」等、大学院科目「食品工学特論」等を担当し、シラバスに沿って授業を行った。講義時間外、オフィスアワーを中心に質問を受け、学生の基礎知識の習得ができるよう努めた。また、卒業研究や修士学生の指導補助を行った。就職を希望する学生には新入社員の採用を予定している県内外の企業を学生に紹介した。		
研究	0.40	これまでの研究成果について、国内外で研究発表を行う。また、海外研究者との交流をはかり、質の高い研究の推進に努める。研究成果を論文等にまとめ、成果の公開と研究発展に努める。			0.40	近赤外分光法を主とする計測技術の研究を行った。これまでの成果をとりまとめ、2編の研究論文が国際学会誌に受理された。また、近赤外分光法に関する講習会にて講師を務めるなど、研究分野の発展に努めるとともに海外研究者との交流を図った。		
社会 貢献	0.20	県内企業、試験研究機関等と連携し、共同研究を積極的に行う。特にサトウキビの価格取引に関して、沖縄県と鹿児島県の製糖関係者と連携し、品質評価システムを運用する。また、沖縄県や農業団体と協力し、沖縄産果樹のブランド化に関する研究を推進し、産地強化のための情報を提供する。			0.20	製糖工場で運用されるサトウキビ品質評価システムの維持業務を行うとともに、その管理に関する情報提供を行った。また、沖縄県やJA等と連携し、沖縄産果実の品質保証技術に関する研究成果を活用について連携を深めた。		
管理 運営	0.10	部局内の委員会活動をはじめ、管理運営活動に積極的に参加する。			0.10	学部の予算委員や全学図書委員などの委員会活動を行うとともに、学部の管理運営に関する活動に積極的に協力するよう努めた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		酒井 一人	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.50	前期(応用数学、地域環境基礎演習I、水文気象学、外国後文献、数学・力学演習)、後期(水資源工学、水利環境学)を担当する。 学生の進路、特に進学に関する進路指導を行う。			0.50	左記の授業科目について、担当者としての責務を果たした。さらに、今後講義における学生の主体性を上げる工夫が必要である。 学生の進路指導において、大学院への進学指導を行ったが十分な説明ができなかった点は反省の余地がある。		
研究	0.30	査読付き雑誌への投稿を行う。共同研究(ソルガム栽培実験)において責務を果たす。			0.30	共著者としての論文が受理された。連合大学院指導学生の研究について、修業年内での修了ができた。		
社会 貢献	0.10	沖縄県および総合事務局の委員会における責務を果たす。			0.10	左記の委員としての責務を果たした。		
管理 運営	0.10	農学部本館改修のまとめ役としての責務を果たす。			0.10	最低限の責務は果たせたと考える。しかし、連絡の遅れなどWGメンバーに迷惑をかけることがあった点は反省が必要である。		
						学生の進路指導において、大学院への進学指導を行ったが十分な説明ができなかった点は反省の余地がある。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲村渠 将	所 属	農学部 地域農業工学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.50	専門科目「水理学」における反転授業の実施		0.50	反転授業を実施できた。受講年次の単位修得率が過年度より高まったため、その理由を分析し、次年度の授業改善に役立てたい。以上のとおり、目標を達成することができた。	
研究	0.19	(1)日本雨水資源化システム学会研究発表会での口頭発表(発表回数1回) (2)農業農村工学会九州沖縄支部事務局長の任務への取り組み(一式) (3)日本雨水資源化システム学会委員会の任務への取り組み(一式) (4)農業農村工学会応用水理研究部会代表幹事の任務への取り組み(一式) (5)科研費への応募		0.19	(1)日本雨水資源化システム学会研究発表会に参加し、口頭発表を行った。 (2)農業農村工学会九州沖縄支部事務局長の任務に取り組み、新事務局への引継を完了させた。 (3)日本雨水資源化システム学会委員会の任務に取り組み、論文閲読や会議での審議を行った。 (4)農業農村工学会応用水理研究部会代表幹事の任務に取り組み、審議を行った。 (5)科研費アドバイザー制度を利用して質の高い調書を作成し、科研費に応募した。 以上のとおり、目標を達成することができた。	
社会貢献	0.01	沖縄県多面的機能支払交付金第三者委員会の任務への取り組み(一式)		0.01	沖縄県多面的機能支払交付金第三者委員会(平成29年1月13日開催)の任務に取り組み、各地の成果を審査し、必要に応じて意見を申し上げた。また、次年度の委員長になることが決定した。 以上のとおり、目標を達成することができた。	
管理運営	0.30	(1)学生生活委員会への参画(一式) (2)全学広報委員会への参画(一式) (3)農学部広報委員会への参画(一式) (4)農学部附属施設の兼務教員及び運営委員会への参画(一式) (5)入試の試験監督(一式)		0.30	(1)学生生活委員会の任務に取り組み、会議(6回出席、1回欠席)での審議を行った。 (2)全学広報委員会の任務に取り組み、会議(全2回出席)での審議を行った。 (3)農学部広報委員会の任務に委員長として取り組み、高校訪問・オープンキャンパスを完了させた。 (4)農学部附属施設の兼務教員及び運営委員会の任務に取り組み、授業1コマ、会議での審議を行った。 (5)センター試験の試験監督業務を完了させた。 以上のとおり、目標を達成することができた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瀬戸内 秀規	所 属	農学部 地域農業工学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.35	学部担当科目として、農村基盤施設学、材料・コンクリート工学、応用力学、工学の力学、施設工学、土質力学、卒業論文をJABEEの教育目標に沿った水準、内容で提供する。修士課程においては、地盤工学特論、土質改善学特論、生産基盤工学特別研究Ⅰ、Ⅱ及びⅢを担当する。 年次指導教員とし、て学生の生活状況確認および卒業生の就職の斡旋を行う。		0.35	全ての担当授業について中間試験の実施ならびに添削により受講生の学習達成度を確認するとともに、JABEE目標の水準の授業を展開した。また、プレゼン、配布資料などの充実さらに証拠資料の作成などに努めた。 2年次指導教員として、生活状況確認および就職などについて指導した。	
研究	0.30	自然災害による地形の被災状況を巨視的に予測し得る力学地形モデルの構築のための研究を進展させる。科学研究費補助金等の外部資金の獲得に向けて取り組む。		0.30	自然災害による地形の被災状況を巨視的に予測し得る力学地形モデルの構築のための研究を進展させた。科学研究費補助金等の外部資金の獲得に向けて取り組んだ。	
社会 貢献	0.10	研究成果の学術雑誌への投稿および学会発表を進めることにより社会貢献に努める。 オープンキャンパスに向けた研究室の紹介等の準備および対応に取り組む。		0.10	学術雑誌に、2編の論文投稿および1編の学会発表で研究成果を社会に公表した。 大学オープンキャンパス、卒業論文ポスターセッションに関する準備公開を行った。	
管理 運営	0.25	教授会、学会会議などの各種委員会に参加し本学部の管理運営に努める。		0.25	教授会議、学科会議、代議会に参加して大学運営に携わった。また、センター試験の運営業務を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00			1.00		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中村 真也	所 属		農学部 地域農業工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.35	JABEEの基準を満たす授業を行う。土地環境科学に関する授業においては、亜熱帯地域特有の関連事象と基礎的教養を教授し、また、研究成果を取り入れて具体例を示すことにより学生の理解を高めるよう努める。学生の読解力、記述力及び考察力の一層の向上を目的として、学生に求める読書量及び記述量を増やす。試験においては、考える力を問う形式の問題を増やす。授業に関して、学生の意見を積極的に聴取する。進学指導・就職支援として、キャリア実習の世話役を務める。学生サークル「おきなわ食・農研究会」の支援を行う。			0.25	JABEE教育プログラムを担当した。土地環境保全学において、熱帯・亜熱帯地域の関連事象を教授し、また、本講義と環境地質学において、研究成果を取り入れた授業を行った。複数の授業において、学生の読書量及び記述量が増えるようなレポートを課した。試験においては、記述によって解答する問題を増やした。キャリア実習の世話役を務めた。「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」事業における平成28年度後学期地域志向教育推進プロジェクトに参画し講義・演習を担当した。学生サークル「おきなわ食・農研究会」の顧問として学生の各種活動を支援した。		
研究	0.40	学術誌に論文を1編以上投稿し、国内外の学会において各1回以上報告発表を行う。(公社)日本地すべり学会の理事及び九州支部事務局長を務める。科学研究費のほかに、A-STEPにも申請し民間企業との共同研究を推進する。			0.30	国内学術誌に総説1編が受理された。国内の学会4回(うち学生の発表2、招待講演2)、シンポジウム2回、報告会2回、国際ワークショップ1回の計9回の研究発表を行った。シンポジウム招待講演者(国内2回)、パネルディスカッションにて招待パネリスト(同1件)を務めた。熊本地震土砂災害の日本地すべり学会現地調査団代表を務め、2度の現地調査と、日本地すべり学会からの演者として日本学術会議熊本地震3ヶ月報告会にて研究調査報告を行った。また、学内において学長リーダーシッププロジェクトのPIに任命され、研究推進フォーラムにおいて研究発表を行った。		
社会 貢献	0.10	行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行う。沖縄総合事務局、沖縄県、公的機関等の委員会や研究会に参画する。教員免許状更新講習1科目を提供する。糸満市土地改良事務所ほかと連携した教育活動を通じてよりよい地域づくりを支援する。沖縄土木技術者交流会の勉強会を開催し、沖縄県内技術者の技術力向上を支援する。			0.15	行政・企業の求めに応じ技術コンサルティング・サポートを行った(沖縄県北部農林振興センター、沖縄県警察本部、石垣市、(株)南城技術開発)。沖縄総合事務局農業農村整備事業等補助事業事後評価技術検討会、沖縄県公共事業評価委員会、農水省・農業農村工学会長期供用ダム小委員会等において委員を務めた。農業土木技術管理士研修会および地すべり防止工事士会講習会にて講師を務めた。(公社)日本地すべり学会の理事及び九州支部事務局長を務めた。沖縄斜面調査研究会技術顧問、沖縄土木技術者交流会副会長を務め、後者の勉強会計4回を開催した。		
管理 運営	0.15	鹿児島大学大学院連合農学研究科の代議員を務める。全学の大学評価センター評価企画員、法人評価調査作成支援委員、個人情報管理委員等を務める。農学部各種委員を務める。入試関連業務について割当分を担当する。			0.30	大学評価センター評価企画員、全学的戦略ポスト再配分審査委員、人的資源再配分検討委員、個人情報管理委員、島嶼防災研究センター運営委員等の全学委員を務めた。法人評価に関して、全学法人評価書作成支援委員会委員および農学部評価書作成WG委員を務めた。鹿児島大学連合農学研究科の代議委員、農学部の入試委員長、将来計画委員、自己評価委員、改修WG委員等を務め、入試関連業務について割当分を担当した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

平成28年度 目標管理及び自己点検シート(表面)

所 属		(学部等) 農学部	(研究科等)	職 名	助教
名 前		安元 純		その他	
領域	業務 ウェイト	年度目標		年度末自己点検結果	
教育	0.20	学科科目として、測量学実習(分担)、応用測量学Ⅰ、応用測量学Ⅱ、地域環境実験Ⅰ(分担)、製図(分担)、卒業論文Ⅰ、Ⅱを担当し、シラバスに沿った展開を心がけ、JABEEの基準を満たす講義を行う。また、教職科目の、情報科学演習9組、10組(分担)を担当する。		学科科目として、測量学実習(分担)、応用測量学Ⅰ、応用測量学Ⅱ、地域環境実験Ⅰ(分担)、製図(分担)、卒業論文Ⅰ、Ⅱを担当し、シラバスに沿った展開を心がけ、JABEEの基準を満たす講義を行う。また、教職科目の、情報科学演習10組、11組(分担)を担当した。	
研究	0.50	農業農村工学会等の研究関連分野の学会講演会等(日本地下水学会春季・秋季大会、農業農村工学会全国大会、国際学会等)で研究報告を行うとともに、関連学会の学会誌等に研究論文を2報程度投稿する。さらに、助成研究等の実施を通じて研究成果の実用化に向けた取り組みを目指す。		農業農村工学会等の研究関連分野の学会講演会等(地球惑星科学連合大会、マリンバイオテクノロジー学会、日本地下水学会春季大会、農業農村工学会全国大会)で研究報告を行うとともに、関連学会の学会誌等に研究論文を1報投稿し、現在、査読審査継続中である。科研費基盤C(代表)が採択され共同研究者と助成研究を協力して実施すると共に、学内の戦略プロジェクト(水循環プロジェクト)のメンバーとして、異分野融合研究や超学際的研究への取り組みを積極的に行った。	
社会貢献	0.10	オープンキャンパスにおいて、研究室を公開する。行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行うことで社会貢献に努める。また、学会の委員や研究会等を通じて、学外学会活動に貢献する。		オープンキャンパスにおいて体験アグリを担当し、参加した高校生に水環境に関して研究内容について説明すると共に野外調査体験を行った。また、行政・企業の技術相談に積極的に応じ、研究成果を生かした技術コンサルティングを行った。また、日本地下水学会の男女共同参画委員や調査研究委員を通じて、学外学会活動に貢献した。	
管理運営	0.10	学部及び学科の委員を務める。		図書運営委員会、進路指導委員会、亜熱帯フィールド科学教育研究センター運営委員会、亜熱帯フィールド科学教育研究センター地域連携協議会などの農学部の管理運営に参加した。	
進路指導	0.10	学生の進路指導を積極的に行い、就職支援活動活性化の一助とする。		進路指導委員会として学生の進路指導を積極的に行った。	
	0.00				
計	1.00	当該シート(表)の公開を希望しない場合には、その旨右記空欄に記載してください。			